

平成27年度 警固屋学園の教育

1 教育理念

…警固屋学園の教育の土台となる考え

子どもはみな、伸びる力を持っている。

子どもはみな、善くなろうとしている。

⇒ 子どもたちがこの力と心を真っ直ぐ発揮するための最大の教育条件は、教職員と保護者です。子どもたちは私たちの姿を見て育ちます。子どもの姿は、私たち自身を映し出す鏡なのです。子どもの姿を通して教職員と保護者がお互いに学び合い、大人として成長していきましょう。

2 学校教育目標

…警固屋学園の教育のめあて

「自分を創る」

⇒ 教育とは、あらゆる人・もの・ことから自ら学び、生涯をかけて自分を創り上げる営みです。この意識が、やらないための理由探しでなく、やるための工夫探しをする生き方に導きます。

⇒ こんな合言葉で、自分を創っていきます。

互いの **ことば** がひびきあえば
互いの いのち がひびきあう
互いの **いのち** がひびきあえば
互いの まなび がひびきあう
そんな **まなび** が 自分を創る

私たちのことばが、確かに、誠実に、豊かにひびきあうとき、一人一人がみな、かけがえのないいのちとしてつながります。自他の幸せにつながるまなびは、そんな学校から生まれます。そんな学校こそ、だれもが「行くのが楽しみな学校」。そんな学校の先生こそ、「会うとうれしくなる先生」。そんな学校の仲間こそ、「会うとうれしくなる仲間」。

3 経営理念

…警固屋学園が組織として目指す方向性

(1) ミッション(地域・社会における警固屋学園の使命)

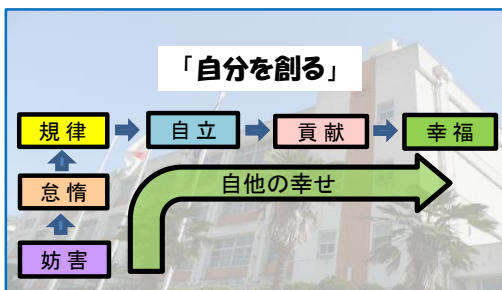
小中一貫教育を通して、「自他の幸せを目指し、自立し貢献できる人間」の根っこを育てる。

(2) ビジョン(使命の追求を通じて実現しようとする警固屋学園の将来像)

行くのが楽しみな学校、会うとうれしくなる先生、会うとうれしくなる仲間

4 目指す児童・生徒像

自他の幸せを目指し、自立し貢献できる生徒



規律を身につけることはゴールではなく、自立と貢献へのスタートです。

「自分を創る」マップで、9年間を見通して自分を創るめあてを持ちます。

「自立ノート」で、毎日の学習と生活を自ら振り返り、課題を克服します。

「自分を創る」で、日常の言葉、身だしなみ、学び、掃除を振り返ります。

5 目指す教職員像

子どもたちの「ことば」「生き方」「学び」のよき手本となる教職員

⇒ ほどよいホスピタリティー(誠実さとさりげない心づかい)で、「きょうどう(響Do)」を創造し、小さな感動を積み重ねます。

この学校で学んでよかった。
この先生に学んでよかった。
この仲間と学んでよかった。